

講義名	対)映画で学ぶ日常英語			授業形態	
担当教員	藤岡 千伊奈	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

社会ではグローバルな環境で即戦力として活躍できる人材が求められています。そのため、英語力と異文化知識を身に付けることが不可欠です。このクラスでは、映画『ノッティングヒルの恋人』を用いて、英語の聴き取り・読み取り・発音のポイントを習得しながら、リスニング力の向上を目指していきます。映画を観ながら、実際のセリフを聞き取って学び、内容を理解しながら楽しく英語を学んでいきますが、英語の基礎が習得できていない学習者には難しい授業となります。この授業は、講義ではなく、授業参加型の授業で、各自が積極的に参加することが求められます。皆さんの努力は、成績に反映されません。

到達目標

1. 映画のナチュラル・スピードの会話を聞き取ることができるようになる。
 2. 語彙・読み取り文句や口語表現を身に付けることができるようになる。
 3. 映画の背景にある英語圏の文化知識を高めることができるようになる。
- * オンラインでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため、オンデマンドでの開講はできません。

提出課題

教科書の予習課題・復習課題・映画レポート等の課題が出ます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出課題・小テストに直接コメントを書いてフィードバックします。また、クラス全体で解説します。

評価の基準

- 1) 授業参加度・姿勢： 20%
- 2) 課題： 20%
- 3) 映画レポート： 20%
- 4) 小テスト： 10%
- 5) 学期末テスト： 30%

履修にあたっての注意・助言他

1. 5回休む（遅刻も含め）と単位なしになるので要注意
2. 第1回目の授業で、重要な詳細を説明するので、必ず出席するように。
3. 授業中、遅刻・欠席・退席を繰り返す場合は、その日「欠席」となるので注意すること。
4. 新しい教科書を購入しないと単位は取れません（古本不可）。昨年までと全く異なる教科書です。
5. 講義連絡を常にチェックするように。

教科書	.映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版.	Richard Curtis他	松橋社	2, 1 0 0	9784881985908
-----	---------------------------	-----------------	-----	----------	---------------

参考図書

その他

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

- 1 授業ガイダンス・自己紹介
- 2 Unit 1 William's Notting Hill & 'She'
- 3 Unit 1 'William's Notting Hill & 'She'
- 4 Unit 2 Surreal, But Nice
- 5 Unit 2 Surreal, But Nice
- 6 Unit 3 A Goddess is A Movie Star
- 7 Unit 3 A Goddess is A Movie Star
- 8 Unit 4 Birthday Party
- 9 Unit 4 Birthday Party
- 10 Unit 5 A Date With Anna
- 11 Unit 5 A Date With Anna
- 12 Unit 6 She's Gone
- 13 Unit 6 She's Gone
- 14 Unit 7 She's Back
- 15 Unit 7 She's Back

* 感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となります(オンデマンドではない)。

* 授業の進捗状況により、授業計画が変更する可能性があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

* 2単位の講義では、1回の講義について4時間の自己学習が必要！ということなので、その時間を、テキストの予習・復習・課題（映画レポートを含め）に使う。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、洋画を用いて、英語の聴き取り・リスニング力の向上を目指すと同時に読み取り文句を習得し、英語圏の文化知識を深めることにより、卒業時に身に付けておくべきグローバル社会で必要とされる読解・コミュニケーション能力の育成を目指す。これらの能力は、卒業認定に求められる「卒業後の動向や問題点を理解するための基礎知識」・「経済にまつわる情報分析の力」・「人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理等」の様々なテーマに取り組むこと・コミュニケーション能力の修得につながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

* 前年度まで使用していた教科書とは異なるので要注意（同じ映画を使用するが）

* 感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となります(オンデマンドではないので要注意)。